



< 2025.10 >

BULLETIN

2025 年 7 月～2026 年 6 月

会 長 樋口 順英
副 会 長 青木 方枝
書 記 村杉 一榮
会 計 小仁 恵子
監 査 柿沼 敬喜
担当主事 柳原みずき

国際会長 エドワード・オン
アジア太平洋地域会長 田上 正
東日本区理事 山下 真
関東東部部長 鈴木 雅博
クラブ会長 樋口 順英

「信念、愛、行動」
「信念と愛を持って行動しよう！」
「ワイズのらしさ再発見」
「(変革) 若者から発信」
「若々しく、心安まるクラブライフ」

10月度 ガザに平和を(寛容と赦し)

あなたがたは神に選ばれた、聖なる者とされ愛されているのですから、憐れみの心、慈愛、慈愛、謙遜、柔和、寛容を身に着けなさい。互い忍びあい、責めるべきことがあっても赦し合いなさい。

主があなたがたを赦してくださったように、あなたがたも同じようにしなさい。

コロサイの信徒への手紙 3 章 12～13 節

★2025年10月例会★

日時: 2025年10月15日(水) 17:30～19:00

場所: 東京YMCA東陽町センター

司会: 柿沼メン、受付: 青木メン

開会点鐘 樋口 会長

ワイズソング・ワイズの信条 全 員

聖句・お祈り 西澤 メン

ゲスト、ビジター紹介 樋口 会長

卓話 メンバースピーチ 佐野 守メン

テーマ「東京デフリンピック開催にちなみ」

各種報告 樋口 会長

YMCA 報告 柳原 主事

ハッピーバースデー 高谷メン、柿沼澄子メネット

閉会点鐘 樋口 会長

★ご出席者は10月11日までに青木迄

第39回インターナショナルチャリティーラン御礼

担当主事 柳原 みずき

この度は、語学教育センター(キッズ英語)のチャリティーランへのチーム出場をサポートいただき、ありがとうございました。

青木さん、村杉さん、小仁さんには会場での応援、励ましをいただき、本当にありがとうございました。

キッズ英語に通う子どもたち、先生、スタッフ、そして欠員補充でにほんご学院の卒業生まで登場する色とりどりのチームでした。

ちびっこも走るチームでしたが、総合 25 位！(出場 43 チーム)なかなかの大健闘でしたよね！

メンバーはワイズの皆さまが一緒に応援してくださって大変うれしかったようでした。

・・・今日は暑い中応援にかけつけてきてくださったこと、そして、キッズ英語にこのような機会をいただきましたこと、心からの感謝をあらためて申し上げます。

【例会出席率】 在籍:15名 9月出席率9/13 69%

出席:9月 (メン9名、メネット0名) 計9名

【ニコニコ】 ¥9,000

◆2025年9月例会報告

日 時：2025年9月17日(水) 17:30～19:30

場 所：東京 YMCA 東陽町センター

出席者：青木、柿沼、小仁、佐野、根本、樋口、村杉、目黒、
柳原各メン、

(ビジター) 望月 温氏(国際ホテル専門学校副校長)

小原史奈子メン(たんぽぽクラブ)

▲ 卓話

卓話者：望月 温 氏

卓 題：「東京 YMCA の外国人留学生の動向」



このたび東京YMCA国際ホテル専門学校副校長、
望月 温(あつし) 氏【写真上】に卓話をいただきました。
当クラブ例会には5年ぶりのご登壇です。

国別留学生の動向、各学校に入学してくる留学生の課題などにつき語っていただきました。

- ① 留学生数は、5年前にご講演いただいたコロナ禍当時と比べ、回復傾向にある。

・下記のように、中国はほぼ横ばい、ネパール、ミャンマーは激増、ベトナム激減している。

	<'19. 5>		<'24. 5>
留学生数合計	312千人		337千人
中国	124.4	→	123. 5
ネパール	26	↗	65
ベトナム	73	↘	40
ミャンマー	5	↗	17

- ② 全国YMCA各種学校では、職種分野別に政策や地域特性を反映し、留学生受入れをおこなっている。
- ③ 東京YMCA各校では留学生比率が急増している。
- ④ しかし職種によっては、特定の資格がないと就職できないため、留学生が少ないなど課題も多い。(例えば、スポーツトレーナー。看護系、福祉系の国家試験など)
- ⑤ 今後、日本語能力「JLPT N2レベル以上」がないと就職がむずかしくなるので、日本語の質の向上が求められる。にほんご学院の役割が重要になる。

(村杉 記)

▲ にこにこスピーチ

佐野メン：日本パラリンピック卓球指導員、町内会、デフリンピック役員など極めて多忙です。



柿沼メン：葬儀が2件続いたのでショック。久しぶりのお弁当は家庭の味がしておいしかった。

目黒メン：太平洋戦争の真実については、東京大空襲・戦災資料センター(北砂)に行くことをお勧めします。

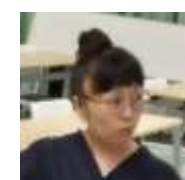


小仁メン：過日の集中豪雨で少し浸かりました。水害への日頃の備えは大切だと思いました。



小原メン：東新部深尾部長家で一連のお茶体験をさせていただきました。これからも部を超えていろいろな体験をしたいです。

柳原メン：水害の映像に接し、気候変動のことを考えました。



樋口メン：神田川船の会用「ひらがなマップ」をつくった。年少者や留学生などに役立てたいです。

青木メン：孫の世話で多忙！ひさびさに和食の弁当を食べ、おいしかったです。ご飯と煮魚に満足！

村杉メン：世界陸上を観ているだけで疲れます。涼しくなってきたので少しずつ歩くことにしました。



根本メン：集中豪雨の時は和服で吉祥寺にいました。帰宅を急ぎましたが、大井町線がストップし、自由が丘から等々力まで2駅歩いて帰宅し無事でした。



▲ 10月8日(水)は、神田川直前例会を、10月8日(水)15時から東陽町センターで行います。
神田川船の会参加者はご出席ください。

▲ ハッピーバースデー

西澤紘一メン、早瀬仁人メン、早瀬弘美メネット、
佐野弘子メネット

(村杉 記)

◆第39回インターナショナルチャリラン報告

日 時:2025年9月27日(土)10:00~14:00

場 所:都立木場公園

参加者:青木、村杉、小仁各メン



チャリティーラン駅伝大会が、9月27日(土)木場公園で行なわれました。好天に恵まれ汗ばむほどの陽気の中43チームが力いっぱい走り切りました。

今年は「TEAM東陽町」初参加の語学教育センター「KIDSグリーンクラブ」チーム応援に青木メン、村杉メンと一緒に参加してきました。

「KIDSグリーンクラブ」は、キッズ英語に通うちびっ子2名、キッズ英語に通っていたスタッフと日本語講師の仲山先生のチーム編成でした。

ちびっ子も走る混合チームでしたが、43チームのなか25位。初参加なのに大健闘!! 東陽町チームも12位。

そして三菱商事「Dream us One」特別賞も受賞しました。

今年は在京ワイズメンの応援・ボランティア等で賑やかな大会で、らくらくウォーク参加も増えたように感じました。

大きな声で声援を送り、若い世代からパワーを貰って大いに盛り上がった楽しい大会でした。

(小仁 記)



◆10月例会卓話のご案内

日 時:2025年10月15日(水) 17:30

場 所:東京 YMCA 東陽町センター

卓話者:佐野守メン(メンバースピーチ)

卓 題:「東京デフリンピック開催にちなみ」



デフ(Deaf)とは、英語で「耳が聞こえない」という意味で



す。デフリンピックは国際的な「きこえない・きこえにくい人のためのオリンピック」なのです。

コミュニケーションは国際手話により行われ、競技運営上の視覚的な工夫※以外はオリ

ンピックと同じルールで実施されます。

(※スタートの音→ライトの点灯、審判の発声→旗ふり等)

ぜひ、この卓話を機会に、デフスポーツに関心を持っていただきますようお願いいたします。

- 期間:2025年11月15日~26日(12日間)
- 会場:駒沢総合運動場、東京武道館他
- 競技:21(陸上、バドミントン、バスケットボールほ
- 参加者数:選手団約6,000人(選手は約3,000人)
- 参加国:70~80か国・地域 (佐野 記)

◆11月例会卓話のご案内

3クラブ合同例会(江東、ひがし、グリーン)です。

開催日時にご留意ください。

日 時:11月13日(木)18:30~

場 所:東京 YMCA 東陽町センター

卓話者:杉野森 絵莉氏

(安治川部屋女将、大活躍の安青錦関が所属!)

◆今後の主なスケジュール

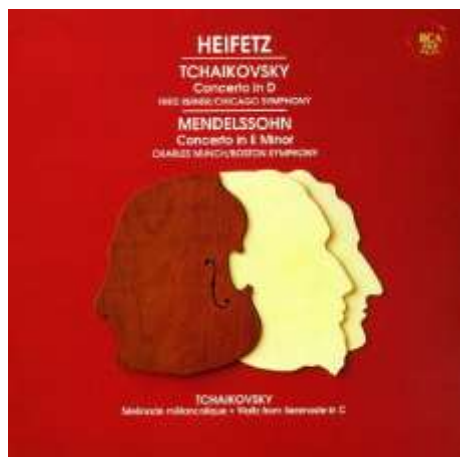
- 1) 10月 8日(水) 神田川直前例会(東陽町)15:00~
- 2) 10月11日(土) 第92回神田川船の会
- 3) 10月15日(水) 10月第一例会(東陽町)17:30~
- 4) 10月28日(火) 昌平小学校船上学習 9:00~
- 5) 11月 5日(水) 同 予備日
- 6) 11月12日(水) 11月第二例会(Zoom)15:00~
- 7) 11月13日(木) ★11月合同例会(東陽町)18:30~
- 8) 11月15日(土) 伊東クラブ50周年記念大会
- 9) 12月14日(日) 東陽町クリスマスオープンハウス
- 10) 12月17日(水) クリスマス例会
- 11) 1月10日(土) 在京新年会(東陽町)13:15~

(樋口 記)

VIVA CLASSICAL

実りの秋に至宝の名曲

メンデルスゾーンのヴァイオリン協奏曲



フェリックス・メンデルスゾーン作曲(1809～1847)

ヴァイオリン協奏曲 ホ短調 作品 64 (1844)

ヴァイオリン:ヤッシャ・ハイフェッツ(1901～1987)

指揮:シャルル・ミュンシュ(1891-1968)

ボストン交響楽団(1959 年録音)

ヴァイオリンの名曲で、美しいメロディー、和声、そして技巧的な演奏と三拍子そろっていて、しかも気軽に聴けるのがこの曲だと思います。日本では親しみをこめて「メンコン」と呼ばれています。

「甘美で哀愁ある第1楽章、夢のように静かな第2楽章喜びに満ちた第3楽章」と、いいところが凝縮された、まるで高級懐石弁当のようです。

全体で25分も休みなく演奏されるのにさほど長く感じさせないし、秋の夜長に、やや音量を小さくして聴くのがいいですね。

思い出CD:巨匠ハイフェッツによる20世紀を代表する名盤で、この曲のグローバルスタンダードです。

彼は1901年リトアニア生まれ。1917年ロシア革命時に米国デビューし、そのまま米国在住し「ヴァイオリニストの王」と呼ばれました。

やや早めのテンポで、美しい音色、完璧なテクニック。ボストン響の暖かみのある伴奏がマッチして爽快です。

私は小学生のとき、毎週土曜日は「お絵描き」を習っていましたがいつもアトリエで流れていたBGMがこのレコードであると後で知りました。

のちに1970年代にシェリング盤が出て、従来のイメージをくつがえすシブい表現が魅力的でした。きっと初演当時はこのようだったかも。現在廃盤で復刻が待たれます。

(樋口 記)

YMCA コーナー

1. 今年2月～4月にかけて呼びかけたクラウドファンディングによるご寄付により外国にルーツのある子どもたちを対象としたサマーキャンプを8月22日～24日に実施した。

29名の子どもたちが参加し、山中湖センターでのキャンプを満喫した。

2. 9月1日、「関東大震災第102周年記念追悼合同早天礼拝」を、在日本韓国YMCAと共催で、在日本韓国YMCAで開催し、45名が出席した。

李 明生牧師(日本福音ルーテル教会むさしの教会)に「その日を望みつつ」と題しメッセージをいただいた。

3. 9月20日、「2025災害スタディ」を東陽町センターで開催し、地域の諸団体や企業、障がいのある方、東京YMCA会員・職員等44名が参加した。

福田 信章氏(災害協働サポート東京業務執行理事兼事務局長)に進行いただき、防災街歩きプログラムや段ボールトイレを作る等のワークを通して、多角的な視点から災害について学んだ。

4. 今後の主な行事予定

・「第39回インターナショナル・チャリティーラン」

個人ウォーキング(オンライン):9月20日～27日

チームウォーキング(オンライン):9月27日～10月5日

駅伝大会(都立木場公園):9月27日

・「早天祈祷会」10月1日(山手センター/オンライン)

奨励:神谷幸男氏(東京西ワイズメンズクラブ)

・「ソウル・台北・東京YMCA指導者協議会」

11月4日～6日 会場:東京YMCA

テーマ:「Our Responsibility for the Future

– To Leave No One Behind」

・「国際協力一斉街頭募金」

11月15日 新宿駅周辺

(クラブ担当主事:柳原 記)

【25/26 年度会費振込のお願い】
振込口座は下記でお願いいたします。

みずほ銀行 深川支店 #446

(普通)3064402

名義 トウキョウグリーンワイズメンズクラブ